



馬たちに【おやつ】をあげる時のルール



乗馬クラブで働く馬たちに与える【おやつ】は、人馬の有効なコミュニケーション手段です。正しく与える事で騎乗やお手入れで馬との良い関係を築きましょう。逆に、「観光ふれあい牧場」の餌やり体験のような気分で**無条件**に与えてしまうと馬たちはその人を「美味しいものを要求すれば差し出す自分の下僕」のように勘違いしてしまい、ワガママがエスカレートしてお手入れなどでもおとなしくできなくなります。



1 当日騎乗した馬・お手入れした馬にだけ与えてください

下馬した時や、お手入れの中で褒めるべきタイミングにサッと1口与えます。特にブラシを嫌がる馬がガマンできた時や、肢を上げてくいた馬がちゃんと肢を上げた時などに「良くできました」と伝える時におやつはとても有効です。



頑張ったら人参もらった♪
次も頑張ってこの人の指示に
応えたいな♡



2 にんじん・クランチなど、少量をポケットやポーチに入れて、身に付けて持ち歩く

にんじんを約5mm幅にカットしたものや、牧場でも販売している「アップルクランチ」などは5粒程度をポケットなどに入れて、持ち歩いている事が馬に見えず、与える時にもスムーズに取り出せるようにしましょう。

袋などに入れて持ち歩くのは禁止です。



キュロットのポケットが小さい場合は、ベルトに装着できるタイプのポーチを使いましょう。騎乗の際に邪魔にならない大きさのポーチを選びましょう。



美味しいおやつは色々あるけど
普段はガマンします。



3 人参・クランチ以外は特別な時だけ

馬たちが喜ぶおやつは他にもありますが、正しいルールで与えるためにポケットやポーチに入れられない物は通常時には与えないでください。競技会やイベントで特別頑張った時など、インストラクターの許可をとった場合以外は原則禁止とします。

特にポカリなど甘い水は馬の体調不良などでインストラクターの指示があった場合以外は絶対に与えないでください。



皆さんからのおやつは嬉しいけど…
ポカたちの健康の為、乗馬馬として永く
働き続けられる教育の為に
ご協力ください。



やってはいけない与え方



手入れで素直に肢をあげてくれたので、横に置いておいた袋から人参を出した。袋に手を入れている間に馬が「早くちょうだい♪」とまえがきをした。

ご褒美はタイミングが大切です。馬が気づいてまえがきをした時点でもらった人参は肢をあげた事ではなく、まえがきで催促した事への報酬に変わってしまっています。

自宅でスイカを食べたので皮の部分をビニール袋に入れて持ってきた。沢山あったので、同じ時間に洗い場に立っている馬に配った。

スイカなどは日常のおやつには向きません。また、お手入れ中の他の馬に配る行為はお手入れをしている人と馬のコミュニケーションを邪魔する場合があります。時には馬がおやつを貰おうと夢中になって、手入れをしている人から意識が離れ、思わぬ事故の原因となることもあります。

厩舎内に行ってお気に入りの馬に人参をあげていたら、周りの馬たちに気づかれた。可哀想だけど、ルールがあるので他の馬にはあげなかった。

他の馬に気づかれるような与え方をした時点でルール違反です。【おやつ】はあくまでも馬とのコミュニケーションの中で「褒める」時に与えるものです。「人参をあげに厩舎に行く」というような、おやつを与える事を目的とした行為は禁止です。

前回バナナを持ってきてインストラクターに確認したら「あげて良い」と言われたので、今日もバナナを持ってきて手入れ後に食べさせた。

1度確認してOKが出た場合でも、毎回同じ条件がOKとは限りません。ルール外の与え方は基本的にはNGです。

持ってきた人参が余ったので帰る前に厩舎に行って飼料桶の中に入れておいた。

人参を入れるポーチが無いので、ロッカーに入れておいた。手入れが終わったタイミングで取りに行って、まとめて5粒食べさせた。

ここに記載したものはほんの1例です。おやつルールについて分からない事があったらインストラクターにどんどん質問してください。